

(2021年度) グリーンファイナンスモデル事例創出事業

- **東急不動産ホールディングス株式会社**の発行計画をモデル性を有するサステナビリティ・リンク・ボンドの発行スキームとして選定。

サステナビリティ・リンク・ボンド概要



発行予定額 : 100億円

発行予定年限 : 10年

発行予定時期 : 2021年10月

SPT 1 : 2019年度を基準年とし、2030年度に当社グループの**GHG排出量 (スコープ1 + 2 + 3) 削減46.2%達成**

SPT 2 : 2025年度に**自社CO₂排出量(スコープ1 + 2) < 削減貢献量 (再生可能エネルギー発電量 (持ち分比率換算) + 森林保全クレジット*)**

*J-クレジット制度に基づく認証を取得した森林保全クレジット

債券特性 : SPTs未達成の場合、1つのSPTにつき社債発行額の0.25%の寄付額を「**緑をつなぐプロジェクト**」に関連した寄付先、その他類似の環境貢献団体等に支払う。

<モデル性>

① SPT 1 : **国内の不動産デベロッパーセクターにおいてSBT (1.5°C) の認定を初めて取得し、パリ協定と整合した野心的な目標値を設定**している点。

② SPT 2 : RE100の2025年達成等で自社のCO₂排出量の削減に努めるとともに、スコープ1, 2にカウントされないより広い範囲でCO₂排出量削減に貢献できると考えられるものを定量化し、自社の排出量を上回るようにする試み。**SPT 1 とあわせて気候変動問題の解決に向けて社会的責任を果たしていくことをコミット**したものと捉えられる点。

③ 全体 : SPTの設定や寄付の採用等、**今後SLBの活用を検討する企業に参考になる要素**が含まれる点。